

令和5年度 事業報告書

第1 学園の概要

1. 基本情報

- (1) 法人の名称 学校法人瀬木学園
- (2) 主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレス
住所：愛知県名古屋市瑞穂区春敲町 2-13
電話番号：052-882-1810 FAX番号：052-882-1813
ホームページアドレス：<https://www.aichi-mizuho.ac.jp/>

2. 設立目的―建学の精神―

本学園は、女子の保健衛生への意識と科学的知識の向上を目指して、1939（昭和14）年に「瑞穂高等女学校」を設立したことに始まる。同校は、戦後、学制の改革によって「瑞穂高等学校」（現：愛知みずほ大学瑞穂高等学校）となり、普通科と商業科をもつ高等学校として今日に至っている。

1950（昭和25）年には、新学制の施行とともにいち早く「瑞穂短期大学」（現：愛知みずほ短期大学）を設立し、「保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成」を建学の精神とし、生活学科に生活文化専攻・食物栄養専攻、さらに、2018（平成30）年に現代幼児教育学科を設け、栄養士及び養護教諭、保育士・幼稚園教諭の養成等を通じて、国民の栄養状態の向上、乳幼児・児童・生徒の健康の増進や女子の地位向上等に貢献してきた。

1993（平成5）年度には、建学の精神を発展させて、近年における社会の著しい変化と高齢化社会の到来に対応し、男女共学の「愛知みずほ大学」を設立した。本大学では、人間科学部（心身健康科学科）を置き、世界保健機関（WHO）憲章で定める「健康に関する原則」に照らし、「身体の健康」「精神の健康」「社会の健康」について関係諸科学を「人間科学」として、科学的思考を基に健康を探究し、時代が必要とする人材を育成し、社会に貢献することを目的としている。

さらに2003（平成15）年度には、「愛知みずほ大学」に「愛知みずほ大学大学院」を設置し、人間科学研究科（人間科学専攻（現：心身健康科学専攻）・修士課程）を設けた。この研究科においては、既設の「人間科学部」における教育研究の基盤の上に、学術の理論及び応用を教授研究し、文化の進展に寄与するとともに、学際的な視野を持ち、人間科学に関する豊かな知識と技術を身につけた研究者及び個性ある高度の専門家・職業人を育成し、もって社会に貢献することを目的とするものである。

3. 沿革

年 月 日	学校法人・学校・学部・学科等の新增設等
1939（昭和14）年12月06日	瀬木財団法人設立認可、瑞穂高等女学校設立認可
1940（昭和15）年04月01日	瑞穂高等女学校開校（後に学制改革により瑞穂高等学校となる。）
1947（昭和22）年04月01日	瑞穂中学校開校
1948（昭和23）年04月01日	瑞穂高等学校普通科開設
1950（昭和25）年04月01日	瑞穂短期大学（家政学科）開学
1951（昭和26）年02月24日	学校法人瀬木学園に組織変更認可
1955（昭和30）年04月01日	瑞穂高等学校家庭科（後に家政科と改称）開設
1962（昭和37）年12月18日	瑞穂短期大学専攻科設置届出
1963（昭和38）年04月01日	瑞穂高等学校商業科開設
1969（昭和44）年04月01日	瑞穂短期大学家政学科を家政専攻と食物栄養専攻に専攻分離
1992（平成04）年03月31日	瑞穂中学校廃止
1993（平成05）年04月01日	愛知みずほ大学（人間科学部人間科学科）開学
1994（平成06）年04月01日	瑞穂短期大学を愛知みずほ大学短期大学部に名称変更
1995（平成07）年04月01日	愛知みずほ大学短期大学部家政学科を生活学科に、家政専攻を生活文化専攻に名称変更
2000（平成12）年03月31日	瑞穂高等学校家政科廃止
2000（平成12）年04月01日	愛知みずほ大学人間環境学科増設
2000（平成12）年04月01日	瑞穂高等学校を愛知みずほ大学瑞穂高等学校に名称変更
2001（平成13）年04月01日	愛知みずほ大学瑞穂高等学校普通科の男女共学開始
2003（平成15）年04月01日	愛知みずほ大学大学院（人間科学研究科（修士課程））開学
2006（平成18）年04月01日	愛知みずほ大学人間科学部人間環境学科を人間環境情報学科に名称変更
2011（平成23）年04月01日	愛知みずほ大学人間科学部人間科学科を心身健康科学科に名称変更
2011（平成23）年04月01日	愛知みずほ大学大学院人間科学研究科人間科学専攻を心身健康科学専攻に名称変更
2012（平成24）年03月16日	愛知みずほ大学名古屋キャンパス開設
2012（平成24）年03月31日	愛知みずほ大学人間科学部人間環境情報学科廃止
2014（平成26）年04月01日	愛知みずほ大学短期大学部に子ども生活専攻設置
2018（平成30）年04月01日	愛知みずほ大学短期大学部を愛知みずほ短期大学に名称変更
2018（平成30）年04月01日	愛知みずほ短期大学に現代幼児教育学科を開設
2022（令和4）年04月01日	愛知みずほ大学瑞穂高等学校全学科・コースの男女共学開始

4. 設置する学校の入学定員、学生・生徒数の状況

(2023(令和5)年5月1日現在)

学 校 名	学部・学科・専攻名等		入学 定員 人	収容 定員 人	令和5年度学生・生徒数				
					1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	計 人
愛知みずほ大学大学院	人間科学研究科	心身健康科学専攻 (修士課程)	15	30	2	4			6
愛知みずほ大学	人間科学部	心身健康科学科	130 ※10	540	130	148	154	128	560
愛知みずほ短期大学	生活学科	生活文化専攻	30	60	44	43			87
		食物栄養専攻	40	80	31	35			66
		計	70	140	75	78			153
	現代幼児教育学科		50	100	36	31			67
計		120	240	111	109			220	
愛知みずほ大学瑞穂高等学校	普通科		240	720	305	306	369		980
	商業科		240	720	61	74	85		220
	計		480	1,440	366	380	454		1,200
合 計			745 ※10	2,250					1,986

※は3年次編入学定員を示す。

5. 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

	愛知みずほ大学大学院			愛知みずほ大学			愛知みずほ短期大学			愛知みずほ大学瑞穂高等学校		
	定員	現員	充足率	定員	現員	充足率	定員	現員	充足率	定員	現員	充足率
令和5年度	30	6	20.0%	540	560	103.7%	240	220	91.7%	1,440	1,200	83.3%
令和4年度	30	13	43.3%	540	571	105.7%	240	224	93.3%	1,440	1,257	87.3%
令和3年度	30	23	76.7%	540	568	105.2%	240	226	94.2%	1,440	1,259	87.4%
令和2年度	30	26	86.7%	540	564	104.4%	240	240	100.0%	1,440	1,180	81.9%
平成31年度	30	27	90.0%	540	523	96.9%	240	256	106.7%	1,440	1,164	80.8%

6. 役員の概要

(1) 定員数・現員数・任期・役員の氏名等

理事 現員7人(定数5~8人) 監事 現員2人(定数2人) 任期 4年

(2024 (令和6) 年3月31日現在)

	氏名	常勤・非常勤の別	前職/現職	就任年月日	担当する職務内容
理事長	大塚知津子	常勤	愛知みずほ大学・短期大学学長	2012/04/01	
理事	小川 八郎	常勤	愛知みずほ大学瑞穂高等学校校長	2020/01/01	広報・情報公開担当
理事	吉岡 成子	非常勤	医師	2015/06/01	施設設備担当
理事	岩田 雅明	非常勤	新島学園短期大学学長	2022/03/01	組織運営・学生募集担当
理事	櫻井 勇	非常勤	(前) 学校法人日本大学第三学園理事長	2001/04/01	経営計画策定担当
理事	元松 茂	非常勤	弁護士	2022/04/01	コンプライアンス担当
理事	長岡 寛治	非常勤	特定非営利活動法人職員	2022/04/01	財務担当
監事	加藤 克彦	非常勤	公認会計士・税理士	2022/04/01	
監事	三輪 博美	非常勤	学校法人名古屋電気学園常務理事	2023/06/01	

(2) 役員賠償責任保険契約の状況

私大協役員賠償責任保険締結 (保険期間 : 2023. 4. 1-2024. 4. 1)

7. 評議員の概要

現員 16人 (定数 15~20人) 任期 4年

(2024 (令和6) 年3月31日現在)

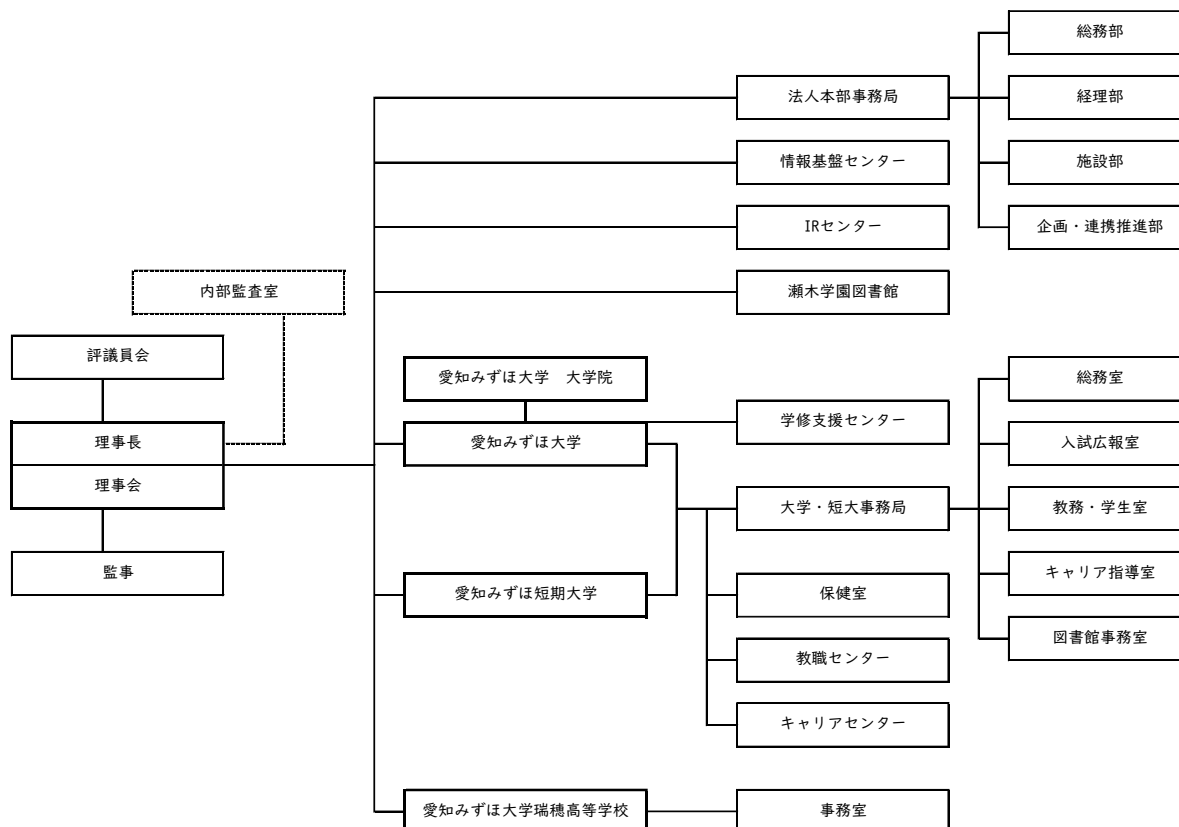
氏名	現職	就任年月日
松原 達昭	愛知みずほ大学大学院研究科長	2022/04/01
高賀 敦子	愛知みずほ短期大学特任教授	2022/04/01
長岡由紀子	愛知みずほ大学人間科学部長	2023/04/01
小川 八郎	愛知みずほ大学瑞穂高等学校校長	2018/04/01
舟橋 美任	学校法人瀬木学園参与	2019/04/01
加藤 浩美	法人本部総務部主幹・愛知みずほ大学瑞穂高等学校事務長	2011/04/01
西山 英子	—	1967/08/13
大井 直子	理学療法士	2001/06/01
信原 和美	スポーツインストラクター	2006/04/01
櫻井 勇	—	2001/04/01
大塚知津子	愛知みずほ大学・短期大学学長	2012/04/01
杉山しげる	—	1967/08/13
吉岡 成子	医師	1982/05/29
鳥山 勇	—	2012/06/01
加藤 明彦	愛知中小企業家同友会相談役理事	2020/01/01
岩田 雅明	新島学園短期大学学長	2022/03/01

8. 教職員の概要

(2023 (令和5) 年5月1日現在)

学 校 名	教 員				職 員			
	本務	平均年齢	兼務	平均年齢	本務	平均年齢	兼務	平均年齢
法 人 本 部	人 —	歳 —	人 —	歳 —	人 6	歳 57.0	人 2	歳 54.5
愛 知 み ず ほ 大 学	22	55.5	57	51.1	12	44.9	4	55.5
愛 知 み ず ほ 短 期 大 学	20	52.7	29	53.3	4	50.5	1	63.0
愛 知 み ず ほ 大 学 瑞 穂 高 等 学 校	71	42.0	27	45.9	7	45.1	1	61.0
計	113	—	113	—	29	—	8	—

[参考] 組織構成



第2 事業の概要

学校法人瀬木学園は、建学の精神の下、愛知みずほ大学、愛知みずほ短期大学及び愛知みずほ大学瑞穂高等学校のそれぞれの理念・目標を踏まえた教育と研究を推進するとともに、現下の私立学校を巡る厳しい諸状況を踏まえ、本学園の基盤整備に努めてきた。

2023（令和5）年度においては、中間年（3年目）となる第3次中期計画を着実に推進し、愛知みずほ大学においては2024（令和6）年度に予定している新カリキュラムへの移行に備えその広報に努めた、愛知みずほ短期大学においては自己点検・評価による認証評価を受審し適格認証を得た。また、愛知みずほ大学瑞穂高等学校における新教育課程の着実な実施など、総じて教育研究の一層の充実とガバナンスの強化を図った。さらに、老朽化した施設・設備の整備を計画的にすすめ、西体育館・2号館の改修を行い、学生・生徒の学修環境の充実を図った。

2023（令和5）年度における学校法人瀬木学園の主な事業について報告する。

以下、学校法人瀬木学園は「学園」、愛知みずほ大学大学院は「大学院」、愛知みずほ大学は「大学」、愛知みずほ短期大学は「短期大学」、愛知みずほ大学瑞穂高等学校は「高等学校」としてそれぞれ記載する。

1. 学園運営の諸制度その他全般に関する改善・整備等

(1) 諸規程の整備について

- ① 愛知みずほ大学学則の一部改正（6.4.1 施行）
- ② 愛知みずほ大学大学院学則の一部改正（6.4.1 施行）
- ③ 愛知みずほ短期大学学則の一部改正（6.4.1 施行）
- ④ 学校法人瀬木学園事務組織規程の一部改正（6.4.1 施行）
- ⑤ 瀬木学園外国旅費規程の制定（6.4.1 施行）
- ⑥ 愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学キャリアセンターの運営に関する規程の一部改正（6.4.1 施行）
- ⑦ 愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学教職センターの運営に関する規程の一部改正（6.4.1 施行）
- ⑧ 愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学防火・防災管理規程の制定（5.4.1 施行）
- ⑨ 愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学保健室の運営に関する規程の一部改正（6.4.1 施行）
- ⑩ 愛知みずほ大学奨学生規程の一部改正（6.4.1 施行）
- ⑪ 愛知みずほ短期大学奨学生制度規程の一部改正（6.4.1 施行）
- ⑫ 瀬木学園図書館利用規程の一部改正（6.4.1 施行）

(2) 学園の主要事業

① 第3次中期計画の着実な実施

第3次中期計画（2021-2025）の中間年（3年目）として、その着実な推進を図った。具体的な進捗状況については、各部門（学校）が取組んだ主な教育・研究の概要において記載する。

② 高大連携の促進及び高等学校と大学・短期大学間の教育連携の充実

高等学校生徒に対する大学及び短期大学の入学説明会、進学ガイダンス、授業体験ガイダンスのほか、大学の連携授業や短期大学の出前講座・出張授業、夏季・春季の高大連携プログラム集中授業などを実施した。

③ 各学校における経費全般の縮減

各学校において学生・生徒の確保に努めたことにより学納金や補助金が堅調さを維持する状況下で、管理経費の縮減等に努めた。

④ 三連動地震（東海・東南海・南海連動型地震）対策の強化

各学校において定期的に防災訓練を実施したほか、大学・短期大学防火・防災管理規程を整備した。

⑤ 公開講座等地域貢献活動の実施

大学・短期大学が協力のもと名古屋市との連携講座「なごや健康カレッジ」を継続実施した。また、短期大学において「みずほ公開講座」、名古屋市瑞穂区役所連携協力事業の「親子ひろば」、独自の家庭科教諭食品加工講習会などを実施した。

2. 各部門（学校）が取り組んだ主な教育・研究の概要

(1) 高等学校教育の充実

① 新教育課程の着実な実施

2022（令和4）年度入学生から新学習指導要領となったことに伴い観点別学習状況の評価を実施することとなり、試行錯誤により評価方法や評価基準を含め観点別評価の趣旨を反映させた評価の実施に取り組んだ。

② 生徒募集活動の見直しを含めた効果的な実施

体験入学の実施時期の前倒しによる計4回の実施や入試説明会の実施により前年度を上回る参加者があった。また、広報を目的としたSNS（当面、Instagram）を開始し、本校の特徴や魅力の発信に努めた。

③ 進路実績向上に向けた取組みの充実

4月に本校の進路指導の在り方に関する研修を行ったほか、土曜進学講座、夏季集中講座、学習合宿等による生徒の学習習慣の確立及び実力養成を図った。

④ 愛知みずほ大学及び愛知みずほ短期大学との連携の強化

学園の高大連携委員会における議論を実効性のあるものとするため高大連携推進委員会を設置し、夏季高大連携プログラムの周知を行ったほか1年生全クラスで「総合的な

探究の時間」を活用して短期大学の出前講座を受講した。また、教養コース生徒に対する大学の連携授業及び生活文化コース生徒に対する短期大学の出張授業を実施した。

⑤ ICT教育の推進

今年度は全校生徒がタブレット端末を持つこととなり、授業のみならず課題の配信・回収、小テストや学校行事での活用など広がりを見せた。また、各種研修会や先行事例の紹介など教員の意識啓発に努めた。

⑥ 生徒把握の強化と生徒支援の充実

欠席・遅刻に対する生徒の意識の薄れ、生徒個々が抱える様々な課題の増加が懸念されたため、学年会や教育相談会における話し合いにより教員間で生徒に関する情報を共有し、生徒支援に役立てた。

(2) 大学・短期大学教育の充実

① 教学改革

(i) 3ポリシーの点検・評価とその具現化

【大学・短期大学共通】

「学修成果の可視化」システムが定着化したことにより、アセスメントポリシーに従い、連携科目間をも見直すことが可能となり、教育課程の効果的な改善が図られている。

(ii) 教育方法の改善

【大学・短期大学共通】

ノートPCの活用度を高める一方、教育方法としてアクティブラーニングとフィードバックの多様なあり方に関する研修会を設定し教育方法の更なる充実を目指している。

② 研究力強化

(i) 学園紀要構成の点検・評価

【大学・短期大学共通】

2020（令和2）年度に設置した科学的思考を培う教育に関する「教育実践・事例研究」は継続的に投稿されている。紀要としての在り方についても的確な点検がなされている。

(ii) 教員の研究力及び学生探究力の向上

【大学・短期大学共通】

『健康』に関する奨励研究」については研究助成の申請はあるものの、学会誌及び本学紀要への投稿に至っていない。

【大学】

2024（令和6）年度スタートの新カリキュラムにおける4年次の卒論及び卒業制作をゴールとするカリキュラムの組み立て構想を完成した。

【短期大学】

各学科専攻コースに特化した「みずほゼミⅠ～Ⅳ」をベースとし、卒業時に各学科専攻コースに相応しい卒業制作（卒業研究レポート、栄養指導実習における指導媒体チラシ等、園服デザインなど）を冊子等に表現している。

③ 就職支援

就職支援体制の見直し

【大学・短期大学共通】

2年前、就職委員会を設置することにしたが、委員会の自立が進んでいない。キャリアセンターとキャリア指導室との関係も含め、組織的な見直しを進行中である。

④ キャリア教育

正課外教育の体系化

【大学・短期大学共通】

本学の目指すキャリア教育のビジョンを改めて明確にした上で、キャリアセンターとキャリア指導室を組織として分離し、キャリア教育と就職支援の業務分離に努めることとした。

⑤ 入学定員の確保

(i) 個別選抜の適正化

(ii) 広報活動の有効化

【大学】

新カリキュラムを全面的に広報し、入学定員数を確保できた。

【短期大学】

総合型選抜に新規高大連携教育プログラムを追加し、一定の需要はあったものの、従来の総合型選抜への需要が減少し、総合的に昨年並に少しとどかず、入学定員数を満たすことができなかった。

⑥ 魅力ある学園づくり

卒業生と在校生の相互支援

【大学・短期大学共通】

2023（令和5）年度は大学・短期大学同窓会会長とじっくり接触し、在校生との繋がりを積極的に構築する方針を共有できた。

⑦ 産学官連携による学生のための実践教育

共同企画により学生の社会における実践力の向上

【大学・短期大学共通】

「産」においては愛知中小企業家同友会と人材育成方針（3P）及びインターンシップについて意見交換の機会を、また愛知ブランド企業とのPBLを定着化できた。

「官」においては瑞穂区制80周年記念事業（交通安全ビブスの考案、交通事故防止のための紙芝居作成など）に参加し、採択され受賞し、新聞に掲載された。「学」においては小中学校への健康診断や運動会へのボランティア活動など、産学官連携による実践教育の充実を図ることができた。

⑧ 評価のフィードバック

各種アンケートによる結果の確実な反映

【大学・短期大学共通】

各種アンケート・データの一元的な収集が進み、アンケート集計結果に留まらず、趣旨に沿った視点で分析・評価する事例が増加した。

⑨ 地域貢献・社会貢献

「健」に基づく活動により地域・社会への貢献

【大学・短期大学共通】

「健康カレッジ」へ大学・短期大学で共同参加した。

【大学】

高田学区における「防災訓練」及び名古屋青年会議所主催の「子ども相撲」へボランティア参加した。

【短期大学】

「親子ひろば」や「食品加工講座」など地域や社会に貢献した。

⑩ 高大連携

大学・短期大学保有の教育資源の高校への提供

【短期大学】

「出張講座」、「ピアノ練習」など頻繁な要望に応えることができています。

⑪ 教職課程

教職課程における自己評価制度の準備

【大学】

「教職課程における自己点検・評価報告書」作成への関与から、これまで不明であった報告書作成の滞り原因を究明することができ、今後への対応策を設定した。

【短期大学】

自己点検評価報告書を作成することにより、自己点検が順調に展開されている。

⑫ 大学院

時代が求め、かつ本大学院のあるべき姿の実現を目指し、2022（令和4）年度に見直した新カリキュラムを滞りなく提供している。

3. 施設・設備の整備

老朽化した西体育館・2号館を学生・生徒の要望を踏まえて改修したほか、計画的にすすめている空調機、換気扇、照明器具の取替え等を行った。

- (1) 西体育館・2号館の改修
- (2) 高等学校本校舎等のトイレ改修
- (3) 空調機、換気扇、照明器具の取替え〔第Ⅲ期〕（高等学校特別教室等）

4. 中期的な計画の進捗状況

第3次中期計画（2021-2025）の中間年（3年目）として、各事項について概ね着実に推進できた。中期計画充実委員会において進捗状況の確認・検証を行い、明らかとなった課題については、その原因を追求し、改善・推進が図られるよう担当部署に対して働きかけを行った。各学校に関わる事項は2. のとおりであり、学園全体に関わる事項については以下のとおりである。

(1) 情報戦略

前年度に引き続き、大学及び短期大学の新生にノートPCを、高等学校の新生にタブレット端末（iPad）を持たせて教育に活用した。また、大学及び短期大学においてICT支援業務を業者に委託するとともに高等学校においては支援員を配置し、学生・生徒及び教職員に対する便宜の向上を図った。

(2) 財政基盤

寄附の募集に努めるとともに、瑞穂会館及び同南側敷地の売却に向けた測量と境界確定を行った。

(3) 環境整備

老朽化した西体育館・2号館の改修を行い、西体育館には空調設備と防音のための二重サッシの整備を、また、2号館は学生の要望を踏まえ、ラウンジやラーニングコモンズの整備、

調理実習室、看護実習室及び学校保健実習室などの改修をはじめエレベーターの新設、内装や外観の全面改修を行った。さらに、高等学校校舎のトイレの改修、同体育館等及び大学・短期大学3号館、5号館の空調機、換気扇、照明器具の取替え等を行った。

(4) 人事政策

各学校において教職員を対象としたFD/SD研修を実施した。また、教員評価を継続実施したほか、事務職員を対象とした評価を実施した。

(5) ブランド強化

各学校において自校史教育に取り組んだほか、学園のイメージアップを図り、学生・生徒の募集に繋げるリーフレット及びプロモーション動画を2024（令和6）年7月の完成を目途に制作することとして、ブランド強化追求委員会においてその企画案の検討を行った。

第3 財務の概要

（決算報告に基づき作成）

参考 学校施設耐震化状況

学校法人瀬木学園では、学生・生徒等の安全を確保するために、学校施設の耐震化対策を実施しています。
2024年3月31日現在の耐震化の状況については、以下のとおりです。

	保有面積 (①) ㎡	新耐震基準 で建築 (②) ㎡	旧耐震基準で建築(③)					耐震診断 未実施 (⑦) ㎡	耐震化率 (②+⑤)/① ㎡
			耐震診断実施済(④=⑤+⑥)				耐震診断 未実施 (⑦) ㎡		
			耐震診断 実施率 (④/③) ㎡	耐震性あり (⑤) ㎡	耐震性なし (⑥) ㎡	耐震診断 未実施 (⑦) ㎡			
愛知みずほ大学・ 愛知みずほ短期大学	10,722	7,488	3,234	3,234	100.0%	3,234	0	0	100.0%
愛知みずほ大学 瑞穂高等学校	16,559	13,288	3,271	3,271	100.0%	3,271	0	0	100.0%
合 計	27,281	20,776	6,505	6,505	100.0%	6,505	0	0	100.0%